

平成 22 年 度

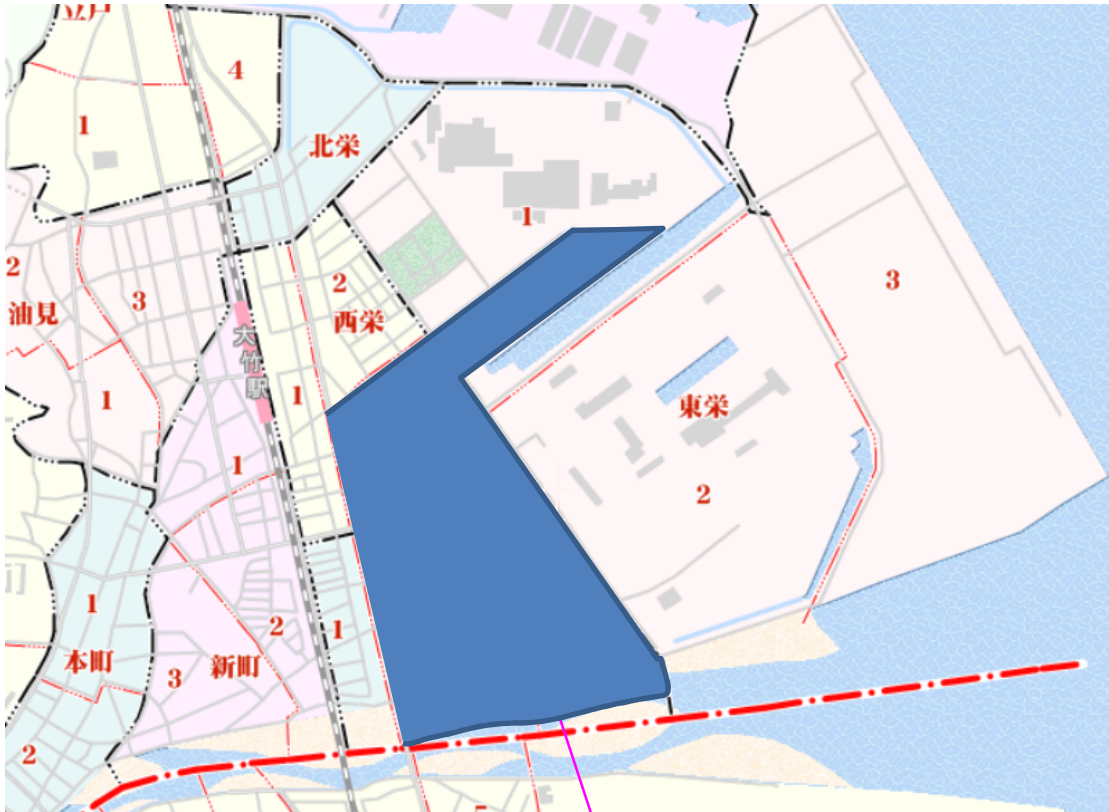
アルゼンチンアリの一斉防除  
結果等報告書

平成 23 年 3 月

大竹市 都市環境部 環境整備課

## アルゼンチンアリの一斉防除区域

(東栄1丁目, 南栄2丁目, 南栄3丁目, 西栄3丁目自治会区域内)



一斉防除区域 約52ha

# 平成22年度 アルゼンチンアリの一斉防除の実施内容

防除地区	東栄1丁目，南栄2丁目，南栄3丁目，西栄3丁目自治会区域内 (南栄2丁目全域，南栄3丁目全域，西栄3丁目全域，東栄1丁目一部，東栄2丁目一部)
防除面積	約52ha
参加人数	385名 (380世帯)
防除期間	7月28日(水)～8月1日(日) ※5日間 ※期間中の雨のため，若干日程をずらして実施している場合あり。
使用薬剤	液体型殺虫剤 (1.8L×1,912本) 期間中6回散布  エサ型殺虫剤 (2.5g×2,908個 (1,454箱×2個入)) 期間中1回設置
モニタリング (効果判定測定)	参加者 1回目 7月28日以前 (一斉防除以前) 2回目 8月1日頃 (一斉防除直後) 3回目 8月15日頃 (一斉防除2週間後) 4回目 9月1日頃 (一斉防除1ヵ月後)  専門業者 (10地点) 1回目 7月27日 (一斉防除以前) 2回目 8月3日 (一斉防除直後) 3回目 9月15日 (一斉防除1ヵ月後)
参加者モニタリング時間	586時間30分

## 一斉防除に係る役割分担

項目	実施内容	市	自治会役員	自治会住民
計 画	環境省，対策協議会との調整	◎		
	事業規模の決定	◎		
	防除範囲の決定	◎		
	防除範囲を自治会と協議	◎	○	
準 備	具体的計画の作成	◎		
	自治会と日程協議	◎	○	
	住民の方への参加依頼(回覧)	◎	◎	○
	説明会の開催	◎	○	
	薬剤の購入，保管場所への搬送	◎	○	
	薬剤保管場所の確保・管理		◎	
	参加者へ資料・薬剤配布，説明		◎	
実 施	事前調査・観察・評価シート記入			◎
	薬剤の散布・設置			◎
	実施状況等デジタルカメラ撮影		◎	
	事後調査・観察・評価シート記入			◎
	作業時間表記入			◎
	調査シート，作業時間表の回収		◎	
効果判定	評価シート，作業時間表の集計	◎		
	実施状況等写真データ整理	◎		
	一斉防除の効果の分析・公表	◎		

※ ◎：実施主体 ○：実施協力



一斉防除の説明会



液体型薬剤の散布



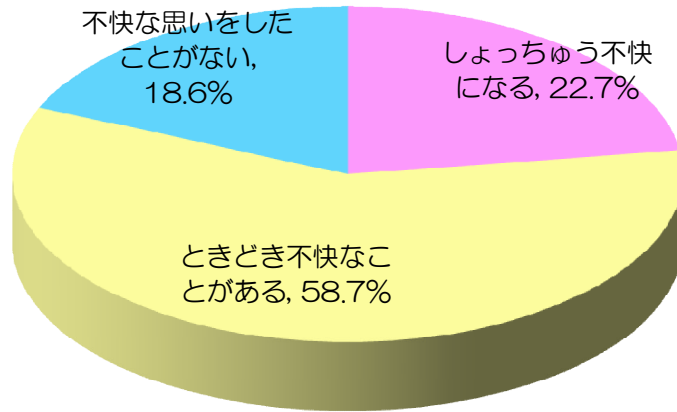
エサ型薬剤の設置

## モニタリング（効果調査）の回答数・回答率

項 目		参加者数	回答数	回答率
モニタリング（効果調査）シート		385名	385 名	100.0 %
7月27日以前 (防除前)	屋外の状況	385名	376 名	97.7 %
	屋内の状況	385名	343 名	89.1 %
8月 1日頃 (防除直後)	屋外の状況	385名	371 名	96.4 %
	屋内の状況	385名	341 名	88.6 %
8月15日頃 (防除 2週間後)	屋外の状況	385名	368 名	95.6 %
	屋内の状況	385名	334 名	86.8 %
9月 1日頃 (防除 1ヵ月後)	屋外の状況	385名	355 名	92.2 %
	屋内の状況	385名	330 名	85.7 %
普段の取組等	これまで不快の思いの有無	385名	361 名	93.8 %
	これまで駆除の試みの有無	385名	373 名	96.9 %
	駆除の割合（駆除している方のみ）	385名	292 名	75.8 %
	使用薬剤の種類（複数回答あり）	385名	566 名	147.0 %
	一斉防除の効果について	385名	346 名	89.9 %
	今後の一斉防除について	385名	364 名	94.5 %
ご意見・ご感想（複数意見あり）		385名	79 名	20.5 %

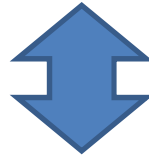
モニタリング（効果調査）シートの集計結果

アルゼンチンアリで不快な思いをしたこと



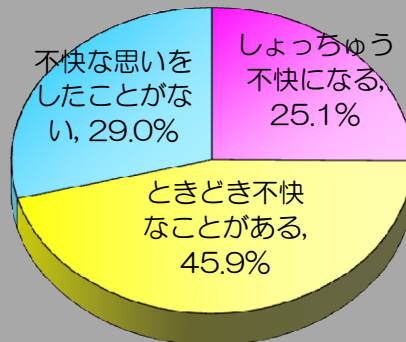
回答数 361件

約81%の方がアルゼンチンアリを不快と感じています。  
次のグラフの[昨年秋の集計結果]と比較すると、ときどき不快になる方は、約15%増加し、不快な思いをしたことがない方は約10%減少しています。



昨年秋の集計結果

アルゼンチンアリで不快な思いをしたこと

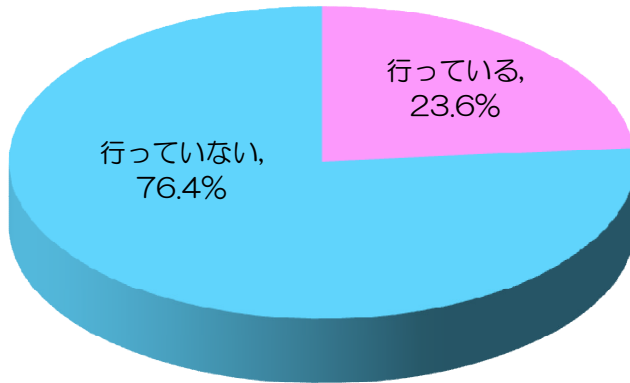


回答数 279件

モニタリング（効果調査）シートの集計結果

普段アリの駆除を行っていますか？

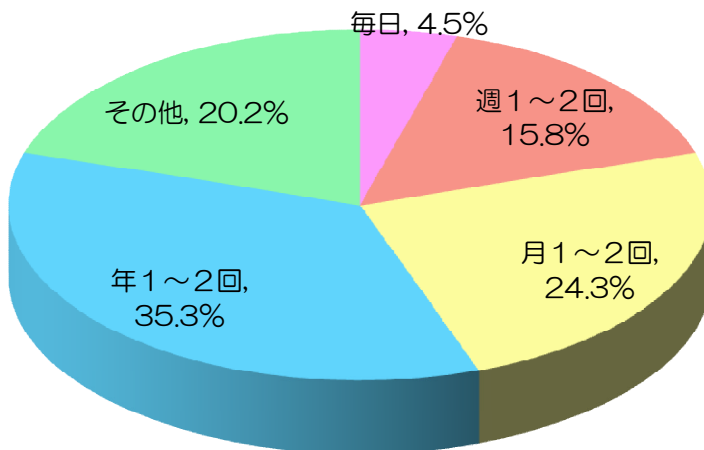
回答数 373件



約24%の方が普段からアリの駆除を行っています。

どれくらいの頻度でアリの駆除を行っていますか？

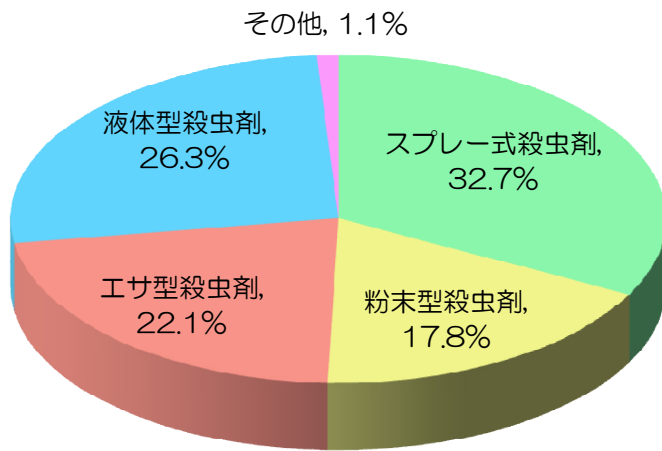
回答数 292件



約20%の方が、週に1回以上駆除を行っており、55%の方が月に1回以上駆除を行っています。

モニタリング（効果調査）シートの集計結果

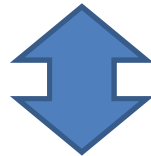
アルゼンチンアリの駆除に試みた薬剤等



回答数 566件  
(複数回答あり)

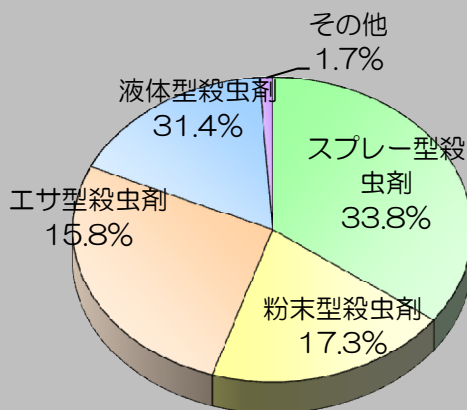
一般家庭の対策として、スプレー型から液体型まで、様々な殺虫剤が使用されています。

下のグラフの[昨年秋の集計結果]と比較すると、スプレー型殺虫剤は昨年同様高い割合となっていますが、液体型殺虫剤の割合が減って、工サ型殺虫剤の割合が増えています。



昨年秋の集計結果

アルゼンチンアリの駆除に試みた薬剤等



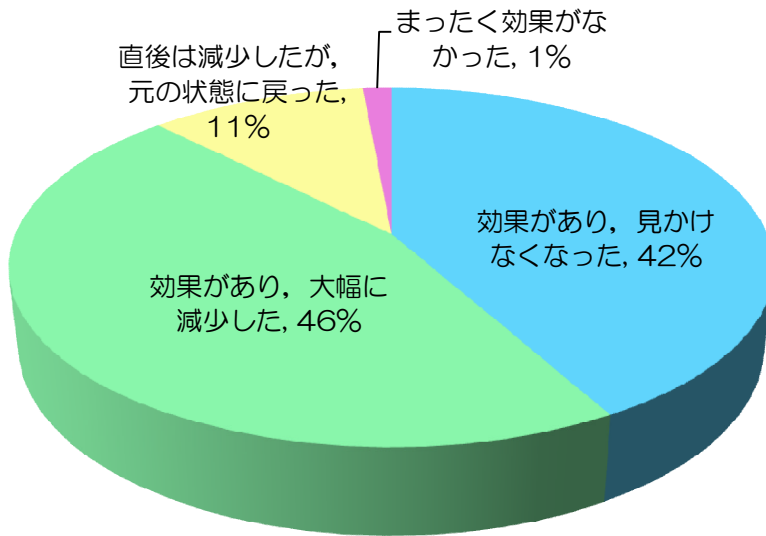
回答数 379件  
(複数回答あり)



モニタリング（効果調査）シートの集計結果

一斉防除から一ヶ月後の感想

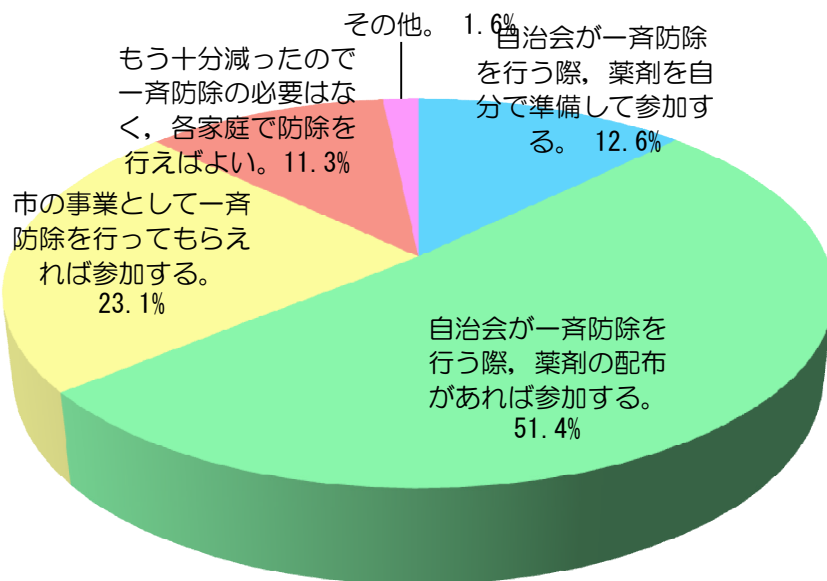
回答数 346件



約90%の方が、一斉防除から1ヵ月後には一斉防除の効果によりアルゼンチンアリが大幅に減少していると感じています。

今後の防除に関する考え

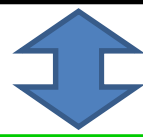
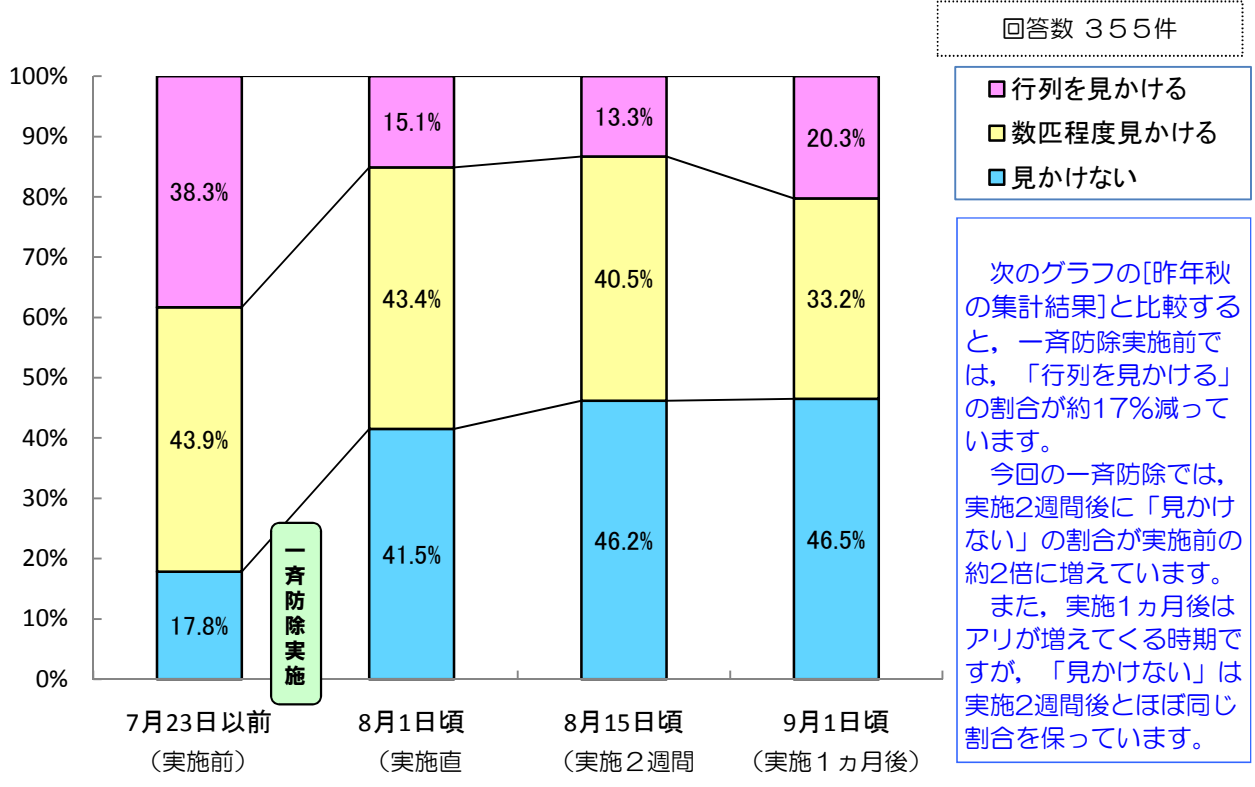
回答数 364件



自治会が主体となり一斉防除を行う際には、約64%の方が参加すると回答しています。市の事業として行う場合には参加すると回答した方が約23%でした。アルゼンチンアリは大幅に減少したので一斉防除を行わなくてもよいと回答した方は約11%でした。今後についても一斉防除に参加すると回答した方は約87%でした。

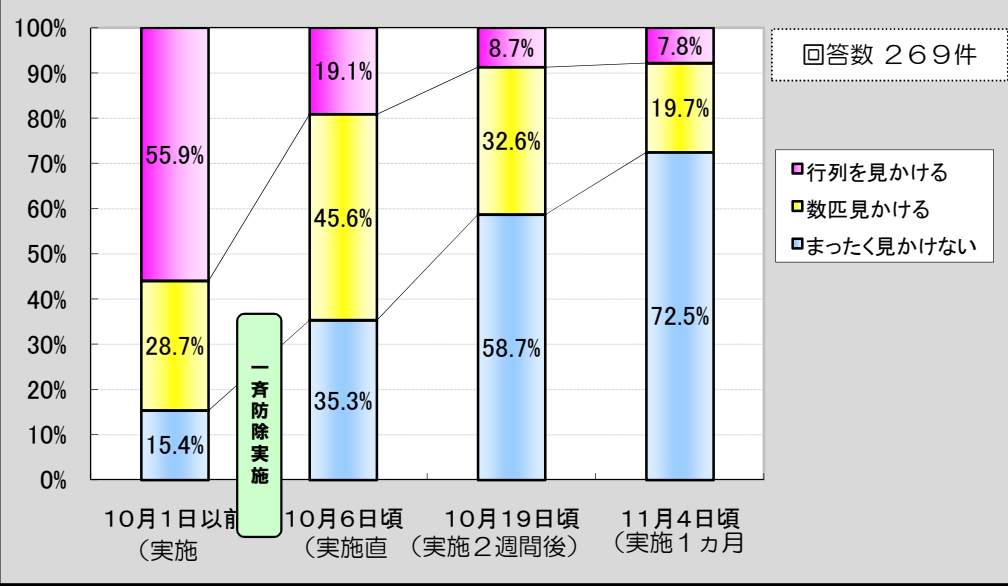
モニタリング（効果調査）シートの集計結果

家の周り（**屋外**）のアルゼンチンアリの状況



昨年秋の集計結果

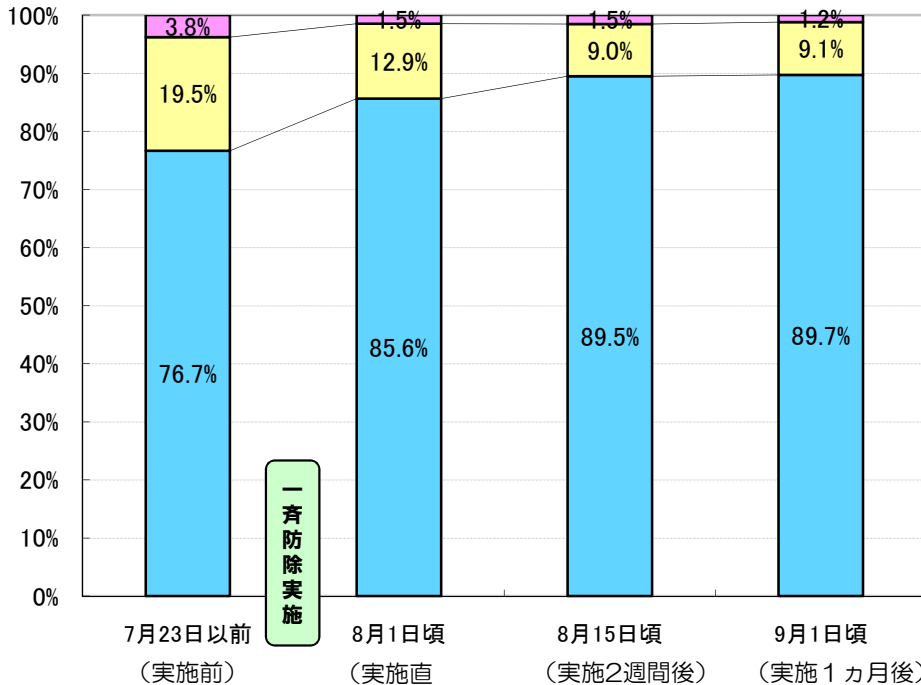
家の周り（**屋外**）のアルゼンチンアリの状況



モニタリング（効果調査）シートの集計結果

家の中（**屋内**）のアルゼンチンアリの状況

回答数 330件



- 行列を見かける
- 数匹程度見かける
- 見かけない

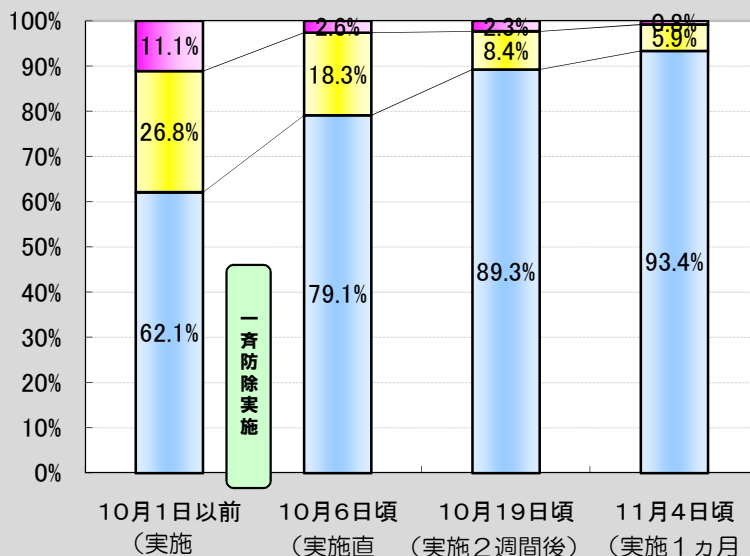
次のグラフの[昨年秋の集計結果]と比較すると、一斉防除実施前では、「見かけない」の割合が約15%増えています。  
 今回実施した一斉防除の1ヵ月後の状況でも、「行列を見かける」と回答された方はほとんどいませんでした。



昨年秋の集計結果

家の周り（**屋内**）のアルゼンチンアリの状況

回答数 256件



- 行列を見かける
- 数匹見かける
- まったく見かけない

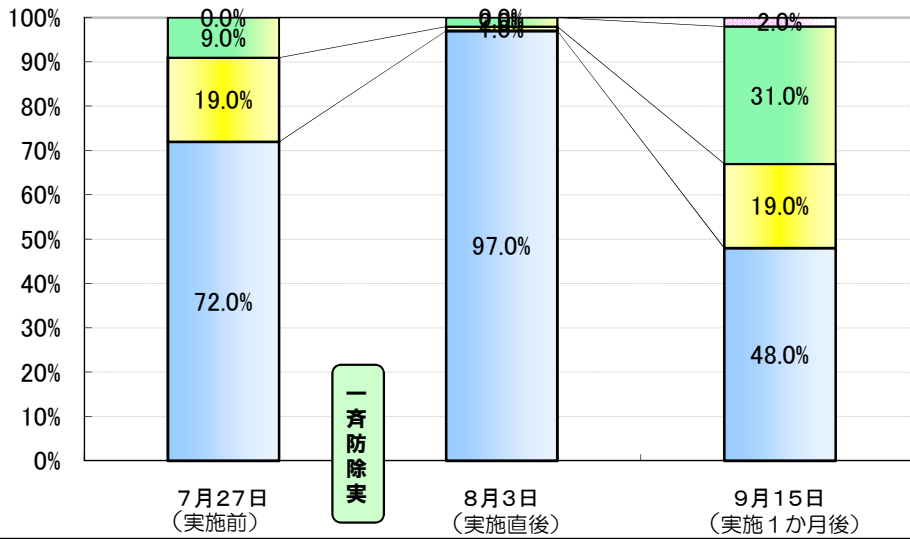
**一斉防除前後の状況**

**調査地点におけるモニタリング（効果判定）結果**

**調査地点におけるアルゼンチンアリの状況**

10地点 100個設置

- レベル3
- レベル2
- レベル1
- レベル0



一斉防除前の状況は、次のグラフの[昨年春の集計結果]と比較すると、レベル2以上（2〜3ヶタの個体数）の割合が28%減っています。  
 今回実施した一斉防除の1ヵ月後はアリが増えてくる時期ですが、約50%の調査地点でレベル0（1匹もない状況）となっています。

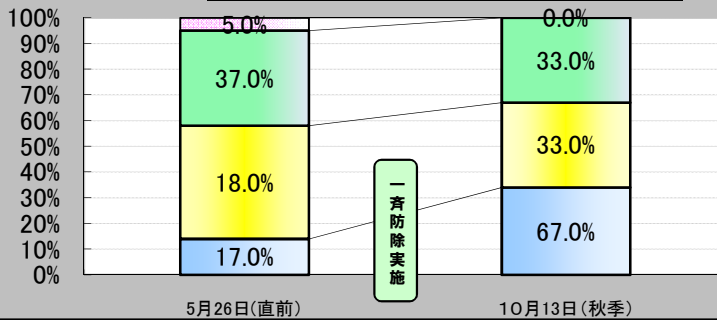
- モニタリング方法：一斉防除区域内に10地点の調査場所を設定し、1地点に10個のショ糖ベイトトラップを設置。  
 トラップは脱脂綿にショ糖溶液を染み込ませ30分放置し、集まったアルゼンチンアリを集計。
- 集計方法： レベル0：個体数0 ， レベル1：個体数1〜9 ， レベル2：個体数10〜99 ， レベル3：100以上

**昨年秋のモニタリング（効果判定）結果**

**調査地点におけるアルゼンチンアリの状況**

10地点 100個設置

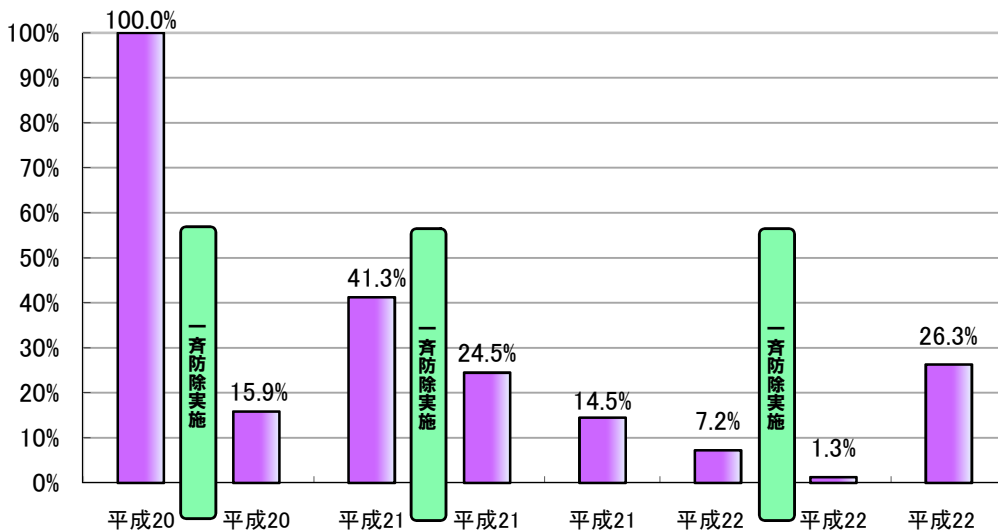
- レベル3
- レベル2
- レベル1
- レベル0



**調査地点におけるアルゼンチンアリの個体数の変動状況**

10地点 100個設置

■ H20の一斉防除前の個体数を100%とした場合の個体数の変動



一斉防除を実施することで、個体数が大幅に減少しています。  
 また、その効果が一定期間継続していることがわかります。